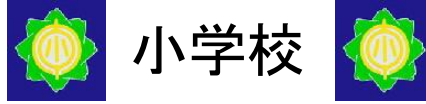




事務局連絡先 070-1287-8026
compassumiyoshidai_017@softbank.ne.jp

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより

平成 28 年3月16 日発行
NO.9



★ 感謝の会 ★

3月4日(金)、「けやき児童会」主催の「感謝の会」が開かれました。学習支援や学校行事、環境整備、登下校の見守りなどで児童がお世話になった方々42名にお越しいただきました。

昇降口でのお出迎えから控室までのご案内とお茶出しは6年生。3年生が作った花アーチで体育館へ入場。6年生によるお礼の言葉、1・2年生が作成したペンダントの贈呈、4年生がクイズを出題し、会場は一体感で包まれました。その後、全校生徒での「ありがとう」の合唱中に5年生が「ありがとうございます。これからもよろしくお願いします」の垂れ幕をおろしました。各学年総出のおもてなしにボランティアの方々の笑顔がこぼれました。



★ イロハノヒカリ2016 ★

3月4日(金)、「イロハノヒカリ2016」の点灯式が行われました。6年生64名が各々プログラミングした64個のLEDが地域への感謝と復興の願いをこめて点灯されました。点灯式には6年生はもちろん、保護者や地域の方、昨年、一昨年、自分たちも経験した中学生も参加してくれました。以下児童あいさつ文の抜粋です。



今夜は「イロハノヒカリ2016」の点灯式にお集まりいただきありがとうございます。

私たちは6年生は総合の学習で地域の方をお招きし「先輩に学ぶ」という学習を行いました。これはこの住吉台に住む様々な方をお招きし、その方々のお仕事に関するお話や、地域に向けるお気持ちを伺うことを通して、私たち自身の将来や地域の一員として何ができるかを考えるための学習です。

十一月には東五丁目にある「内藤以貫」のお墓を守っている保存会の継枝さん、鈴木さん。一月には「卒業を祝う餅つき会」を続けてくださっているPTAのOBの反田さん。そして管理校医として私たちの健康と成長を見守ってくださいっている大澤先生(中略)

また、家庭科でエプロンを製作する時にはミシンボランティアの方々優しく教えていただきました。私たちはこれらの学習を通して「ふるさと住吉台」のすばらしさを学びました。(中略)

この「イロハノヒカリ」は地域の皆さんへの感謝を示すためのイベントです。今回で四年目の取組です。(中略)

この六十四個の光を通して、読み聞かせや防犯ボランティアの皆さん、PTAの皆さん、地域のすべての皆さんに私たちの感謝の気持ちを届けたいと思います。(後略)

★6年生 卒業を祝う読み聞かせ ★

2月後半～3月前半にかけて、読み聞かせボランティアの方による「卒業を祝う読み聞かせ」(全3回)が行われました。

1年生入学時から毎週月曜日に聞いてきた本の数は約250冊。今回、卒業前に伝えたいメッセージとして選ばれたのは「せかいでいちばんつよい国」「希望の木」「狼森と策森、盗森」の3冊の本と短文「幸せを分けるという生き方」でした。



★ オオムラサキ展 ★

2月19日～3月4日までの2週間、オオムラサキ展が行われました。校内で飼育しているオオムラサキについて詳しく知ってもらうために毎年「オオムラサキの舞うふる里を育てる会」の方々にご協力いただき行っています。

1年生の教室近くに突然現れた大きな蝶の模型に1年生はびっくり!!虫めがねで幼虫や標本の観察をしたり、顕微鏡でオオムラサキを見たりしようとして長蛇の列。準備していたオオムラサキの塗り絵もたちまちなくなりました。今年もオオムラサキが飛び交う季節が待ち望まれます。



地域の皆様に感謝



現在仙台市に設置されている学校支援地域本部は76本部です。次年度は市内の中学校区すべてに設置される予定です。

住吉台中学校は平成22年度、住吉台小学校は平成24年度から活動を始めました。地域の皆様の学校に対する思いと、子どもたちを温かく見守ってくださる眼差しに支えられ、ここまで活動を続けることができました。今年度は1年間を通して、のべ2000人以上の方がボランティアとして参加してくださいました。多くの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

次年度はさらに多くの地域の方々が学校と関わっていただけるよう努力していきたいと思えます。また、中学生ボランティアなどの地域に貢献する学校の活動にも力をいれていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

住吉台中学校区学校支援地域本部 コンパス住吉台
スーパーバイザー 佐藤 慶子 (小学校担当)
スーパーバイザー 宮本 真由巳 (中学校担当)